



# ふれあいひろば

[患者とともにある全人的医療]



## 第43回五大がんに関する市民公開講座

### あんしんで優しい肝臓がん手術

消化器外科 佐藤 大輔

肝臓がんは、肝臓にできる悪性腫瘍で、①原発性肝臓がんと②転移性肝臓がんがあります(図1)。



図1

それぞれ病状によって治療方針が異なりますが、どちらのがんにも治療の一つとして肝切除があります。当科では患者さんに安心して優しい手術として、腹腔鏡手術を積極的に取り入れています。今回は肝臓がんに対する腹腔鏡下肝切除術について説明します。

#### 【腹腔鏡下肝切除とは】

お腹に5-12mmの小さな切開を行い、炭酸ガスでお腹を膨らまし、カメラ(腹腔鏡)を挿入し、鉗子を用いて肝臓を切除します。

その主なメリットは、①傷が小さく痛みが少ない(早期回復、早期退院、早期社会復帰)、②内臓を触らない(術後腸閉塞を起こしづらい)、③拡大/接近して手術可能(繊細な操作が可能)などがあり、負担が少なく患者さんに優しい手術といえます。しかし、手術が長時間になり易く、腹腔鏡専用の医療機器が必要になり、腹腔鏡特有な合併症などのデメリットもありますが、その合併症の頻度は極めて少ないです。

#### 【保険収載と術式、施設基準】

肝切除の方法は、小さく切除する部分切除から約60%切除する葉切除など様々あります。その中で2010年度からは部分切除などが、2016年度からは葉切除を含めほぼすべての術式が腹腔鏡下手術で保険治療として認可されました。しかし、実際に手術を行うには施設基準を満たさ

なければなりません。手術件数や人員などの他、関連学会と連携して安全管理を行うことが義務付けられており、当院ではその厳しい基準を満たすために患者さんには前向き全例登録制度という臨床試験参加にご協力を頂いています。

#### 【安全性】

昨今腹腔鏡下肝切除は危険な術式として捉えられる傾向にあります。前述の臨床試験の経過報告では腹腔鏡下肝切除の死亡率は30日死亡率0.07%、90日死亡率0.21%と極めて低く、他臓器の腹腔鏡下手術と同等です(図2)。合併症率も開腹手術に比べ低く、あんしんで受けていただけます。

#### 前向き全例登録制度の経過報告

死亡率 (部分切除、外側切除、葉切除、区域切除、葉切除)	
30日死亡率 0.07% (2/2926)	90日死亡率 0.21% (6/2926)
適応拡大された術式の死亡率 (葉切除、区域切除、葉切除)	
30日死亡率 0.31% (2/640)	90日死亡率 0.94% (6/640)

図2

(2015年10月~2017年6月)  
肝臓内視鏡外科研究会HIFより抜粋

#### 【当科の現状】

当科では2007年に腹腔鏡下肝切除を開始し、2017年5月までに151例の腹腔鏡下肝切除を行っています。原発性肝臓がんと転移性肝臓がんの患者さんが半分半分で良性疾患の患者さんも手術を受けています。合併症率も開腹手術に比べ低く、胆汁漏2.6%(開腹7%)、肝不全3.9%(開腹7%)程度で、死亡率は0%です。2016年度以降は術後在院日数が約6日と開腹手術の12日と比べ早期退院、早期社会復帰が可能となっています。

【最後に】腹腔鏡下肝切除は患者さんに負担が少なく、合併症も少ないあんしんで優しい手術といえます。お気軽にご相談下さい。

## 第43回五大がんに関する市民公開講座

## 前立腺がんの放射線治療

放射線治療科 山名 展子

前立腺がんは男性がかかるがんの中で胃、肺、大腸に続いて4番目に多いがんですが、高齢化や検診の普及などでさらに増えることが予想されています。前立腺がんは初期には自覚症状がほとんどないので、早期発見するためには、血液検査で血中のPSA（前立腺特異抗原）を測定する検査を受けていただくのが大切です。前立腺がんの治療法には手術、放射線治療、ホルモン治療などがあります。ここでは前立腺がんの放射線治療について紹介します。

## 1.放射線治療の方法

前立腺がんの放射線治療の方法には、大きくわけて体の外から放射線を当てる外部照射と前立腺の内部に放射線の出る物質を入れて治療する組織内照射があります。

## ・外部照射

多方向から少しずつ放射線をあてることで前立腺に線量を集中させて治療する3次元原体照射法（3D-CRT）が従来から行われていますが、前立腺の背側に位置している直腸にも放射線がかかり、直腸出血の副作用が5～10%くらいの患者さんで起きていました。近年は前立腺の形状に合わせて照射することで、直腸などの正常組織の被ばく線量を下げることができる強度変調放射線治療（IMRT）が普及し始めています。（写真）外部照射には、重粒子線、陽子線など、特殊な粒子線を使う方法もあります。ただし、現在のところ前立腺がんに対しては保険適応にはなっておらず、新潟県内に施行できる施設はありません。

## ・組織内照射

組織内照射には2種類あり、放射線を放出する粒状のヨウ素125線源を50～100個前立腺内に永久に埋め込み、内部から前立腺に放射線を当てる低線量率組織内照射と、前立腺に針を刺入し、その針の中に放射線が出る線源を一時的に挿入して治療する高線量率組織内照射があります。低線量率組織内照射は主に低リスクの前立腺がんに行われま

す。高線量率組織内照射は外照射と組み合わせて行うことが多く、高リスクのがんでも良好な治療成績が報告されています。

## 2.治療の実際（当院での外照射の場合）

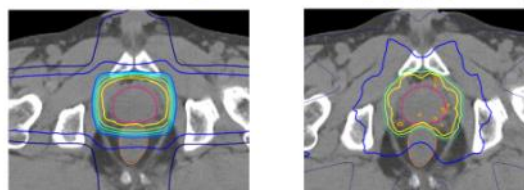
治療は月曜日から金曜日までの週5回、合計35～37回（7週間程度）行います。一回の治療時間は10～15分程度です。毎回の治療で前立腺の位置を一定に保つために、飲水し1時間程度尿をためた状態で治療を行います。また直腸がガスや便で膨らむと前立腺の位置もずれるため、下剤やガスを減らす薬を治療期間中に内服します。

## 3.副作用

放射線治療中に起こる副作用として頻尿、排尿痛、排便回数の増加があります。治療後2週間から1ヵ月程度でほとんどの方が治療前の状態に回復します。

治療後数か月から数年後に起こる副作用として、直腸から出血（血便）が見られることがあります。大部分は出血はわずかでそのまま様子を見てみると改善しますが、症状が強い場合は薬や内視鏡で治療を行います。まれに血尿がでたり、尿道が細くなり尿の出が悪くなる場合があります。

## 3D-CRTとIMRTの比較



3D-CRT（4門照射→回転照射） IMRT（固定7門）

IMRTでは直腸の部分にくぼませた線量分布を作ることができる

写真

# 第8回市民病院ふれあいまつり2017

副院長 小田 弘隆

“第8回市民病院ふれあいまつり2017”は、10月7日（土）に開催されました。老若男女を問わず子供に至るまで、また、ご家族づれ、ご夫婦や友人同士など、多くの方々にご参加いただき、皆様にご満足いただけたものと思います。

ふれあいまつりの目的は、まさに一般市民と病院職員のふれあいを通して、病気と健康について考えていただくことです。知ることが健康管理の第一歩ですので、楽しく学んでいただけるよう心がけました。当日の27企画のなかからいくつかを写真で紹介します。

やってみよう！AED体験  
あなたもできる！心肺蘇生（救急）



菌を使って作ってみよう発酵食品  
納豆（感染制御室）



調剤体験コーナー  
めざせ お薬マスター!!!（薬剤部）



自分の鼓膜を見てみよう  
（耳鼻いんこう科）



手術室大公開  
～命を支える人と最先端医療機器～



認知症について知ろう！（看護部）



命を守る医療機器に触れてみよう！！  
（臨床工学科）



集まれ！未来のナース達  
ナースに変身（看護部）



この他にも、たくさんの企画を楽しんでいただきました。

来年も開催しますので是非おいでください。



## シリーズ 季節の食材

### 「かぶ」

### 栄養管理科

かぶは通年出荷されています。春の七草である「すずな」としても知られていますが、10～12月頃の寒い時期はもっともたくさん出回り、味もおいしいとされています。原産地はアフガニスタン系のものと地中海沿岸のヨーロッパ系に分かれます。日本では金町小かぶ、聖護院かぶ、天王寺かぶなど約80種が生産されています。

**栄養** かぶは胃腸を温めてくれるので冷えからくる腹痛を抑えたり解毒作用があるためジュースにして飲むと吹き出物や腫れ物に効果があるとされています。また根と葉では含まれる栄養も異なります。

**根** →単色野菜。ビタミンCや消化酵素のジアスターゼを含みます。

ジアスターゼは胃もたれや胸やけを解消してくれます。葉にも含まれる辛み成分のグルコシアネートは発がん性物質を解毒する作用があるとされています。

**葉** →緑黄色野菜。カロテン、ビタミンC、鉄、カルシウム、カリウム、食物繊維などを含んでおり、他の葉物と同じく炒め物、煮物、和え物として食べることができます。

★根の部分は火が通りやすく味がしみやすい一方、煮くずれしやすいため加熱は短時間を心がけましょう。



## 登録医の紹介

医院名：ながたクリニック

代表者名：伊藤 拓緯

医師：伊藤 明子、増井 由紀子

診療科目：整形外科、皮膚科、リハビリテーション科

住所：新潟市中央区長潟1205-4

電話番号：025-282-7010

診療時間：8時15分～11時45分 14時30分～17時30分

休診日：日曜祝日 木曜・土曜午後

### ○自院特徴と診療方針○

当クリニックでは、患者さんが運動器や皮膚に関して心配・不安なしに毎日の生活を送っていただけるようお手伝いをしていきます。

確実な診断のもとに治療を行うこと、日々のつらい症状を和らげること、迅速な診断を行うことを心がけていきます。

### 編集後記

季節が一気に秋から冬へと変わり、白鳥の鳴き声がよく聞こえるようになりました。

さて、今年も残りわずかとなりました。本当に一年過ぎるのが早いですね。これから忙しい時期になります。皆様も風邪をひかないよう暖かくしてお過ごしください。

(F)

市民病院のホームページもご覧ください  
<http://www.hosp.niigata.niigata.jp/>

新潟市民病院 広報広聴委員会

新潟市中央区鐘木463-7

電話 025 (281) 5151

Fax 025 (281) 5187